

第3回 むつ市花・木・鳥選定委員会 会議概要

日 時：平成21年7月22日（水）午後1時32分～午後3時1分

場 所：下北文化会館 第三集会室

○出席者（14名）

宮浦 雅子 委員（委員長）	布施 昭則 委員（職務代理者）
石田 文次 委員	福島 利一 委員
笠嶋 武夫 委員	櫛引 由昭 委員
八戸 信一 委員	杉山 博利 委員
福土 きよ 委員	星 和夫 委員
古川 博 委員	和田 久 委員
二本柳 孝 委員	西田 キイ 委員

○欠席者（1名）

山崎 太郎 委員

○事務局（6名）

宮川 淳一 企画部次長	伊藤 道郎 企画部副理事企画課長
木村 龍次郎 企画課企画グループリーダー・主幹	
青山 諭 企画課企画グループ主任主査	
新谷 智文 企画課企画グループ主任	
伊藤 愛 企画課企画グループ主事	

◎次第

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 議 事
(1) 審 議
4. その他
5. 閉 会

1. 開 会

(事務局)

本日の出席委員は14名で、委員の半数以上に達しているので、会議が成立していることをご報告する。

2. 委員長あいさつ

(委員長)

皆様こんにちは。いよいよ3回目、今日はまとめの時となりました。今日もまた皆様の貴重なご意見、そしていっぱいのお心をいただきながら、立派にまとめていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

3. 議 事

(委員長)

それでは議事に入りたいと思う。

前回は、市の花・木・鳥の選定の候補となる名称を絞り込むまで作業を進めたが、本日は、名称の選定について決定するとともに、選定理由を付した市長への答申内容をまとめることにしたい。

審議の進め方は、前回と同様に花・木・鳥の順に進めることにしたいので、よろしく願いしたい。

(1) 審 議

【むつ市の花について】

(委員長)

それではまず、市の花の審議に入る。

前回ご審議いただき、最終候補となった名称とその理由等を資料として取りまとめているので、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料1「市の花・木・鳥の選定に係る名称の最終候補」の1頁について説明。

(委員長)

事務局から説明があったが、何かご質問はあるか。

(委 員)

私の所属する団体では平成18年11月に商品券を発行し、旧むつ市の「はまなす」、「はくちょう」、「ヒバ」、市章や当該団体のマークなどを盛り込んで作成したが、非常に流通し、市民の評判も良いと聞いているので、私はハマナスを推薦する。

(委員長)

はい、次の委員どうぞ。

(委 員)

この前、小学校や高等学校の児童、生徒に話を聞く機会があり、サクラやアジサイは出ていたが、ハマナスは一人も出てこなかった。ハマナスが市の花になったら、子供たちにこれからどのように印象付けて行くのかと思ったので、意見を出させていただいた。

(委員長)

事務局の説明について、質問がなければ次に行くが、いかがか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

(委 員)

これからのプロセスについて事務局へ聞くが、ここで決定となったら、次の段階として庁内で代表者の会議を開くとか、更に市長へ持って行くなどを考えているのか。

(事務局)

本日の委員会の最終決定については答申という形で市長が受けることになるが、これを踏まえて市長が総合的な判断をくだし、最終的決定をすることになる。

(委 員)

庁内の部長クラスを集めて協議することなどはないのか。

(事務局)

そういう予定はない。

(委 員)

では、今回の決定のウエイトが高くなると解釈してよいか。

(事務局から「はい」の声あり。)

(委 員)

事務局に聞くが、答申がなされた後、他の審議会等の経緯からもおそらく選定されたものがそのまま通るとは思うが、もし通らない箇所があったら、委員にどのような方法で連絡してくれるのか。

(事務局)

答申については、市長は大変重く受け止めるものと推測するが、決定した事項については、何らかの方法でお知らせしたい。担当者から補足説明させていただく。

(事務局)

本委員会で審議されたものについては、この後、答申という形で市長に示されることとなるが、答申が軽々に扱われるものでないことは当然であり、これを重く受け止めながら市長がどのように判断するのかということになる。ただ、この答申後の結果については、いずれにしてもきちんとした形で報告したいと考えている。その後、市民の方などには、ホームページや市政だより等を活用して広くお知らせすることを考えている。

(委員長)

委員、よろしいか。

(委員から「はい」の声あり。)

それでは、皆様の意見を伺いたいと思う。先ほどの委員からはハマナスを押しという意見があったが、別の委員からは、知らない人もいるので心配だという意見もあった。

(委員)

私はハマナスを推薦しているが、先ほどの委員から最近の子供はハマナスがよく分からないという話が出たが、だいぶ前から子供たちの水害防止のため、海や川に行くなという看板があちこちに設置された結果、ハマナスを見る機会が少なくなったことが一つの理由ではないかと思う。これからそういう部分をカバーしながら、ハマナスをあちこちで栽培するという活動をすれば、多くの市民がハマナスに触れる機会ができるのではないかという気がする。

(委員長)

私たちはハマナスと一緒に育ったが、この頃は生活の仕方が違ってきた。これから育てていきたいという意見が出たが、あと何かないか。

(委員)

アジサイについて資料の訂正をした方がよいと思う。理由に、「花を楽しむことができ」という説明書きがあるが、実は、アジサイはガクという花卉、花びらがあって、それから雄しべ、雌しべが出て、花が終わって実ができるので、秋まで残っているのは花ではなくガクであり、一般的に花だと思いこんでいるのはガクだということである。

(委員長)

文言についても、答申する場合はしっかりと学術的なことも検討してからとなる。今は、花ではなくガクであることを教えていただいた。これまで、アジサイとハマナスが出たが、サクラについてはいかがか。

(委 員)

前はサクラということで話をさせていただいた。ハマナスが絶対ダメということではないが、数は少ないが市民から意見募集の半分以上がサクラである。しかも内容は、大畑町や脇野沢村の方々というより、むつ市民の方が多い。合併した際に新たに決めるという意義や、観光面などにPR効果が期待できること等から、サクラがいいと考える。

(委員長)

では、ほかの委員はいかがか。

(委 員)

いろいろ意見が出ているが、サクラは国の花として普遍的であり、アジサイはいろいろな種類があるためどれにするのかとなるので、ハマナスが適当ではないかを感じる。

(委員長)

いろいろな意見をいただいているが、ほかには是非これだけはこの意見はあるか。

(委 員)

やはりその地域の特徴が必要であると感じる。地域の特徴として、どれが素晴らしいかという点を考えていただければと思う。

(委員長)

地域の特徴、むつ市ならではというところを強く考えなければならないと思う。

(委 員)

前はサクラを推したが、それぞれ一長一短である。先ほども出たが、ハマナスは子供たちに馴染みがないので、制定された段階でいろんな機会にむつ市の花であるとアピールするなど、教育していけばいいと思う。やはりハマナスは、むつ下北地方のローカル色の強い花だと感じるが、逆にサクラは、日本全国どこにでもありふれているという点からすれば、ハマナスがよいかと考える。旧むつ市は平仮名の「はまなす」であったが、今回はイメージチェンジをしてカタカナで「ハマナス」とすればどうか。

(委員長)

子供への教育は本当に大事なことである。

ほかにはないか。

(委 員)

ハマナスは、海岸が浸食されて非常に少なくなっている。今まで出た意見を聞いても、子供たちに親しみがないという感じがする。私も全体的な推薦者が多いということで、ハマナスでいいかなと思っているので、もしハマナスに決まった場合は、今後の問題としてどう増やし、地域に愛されるようにしていくかをもっと強く訴える方法がないか考

えている。

(委員)

下北では、ハマナスの実をお盆に飾ったり、仏様に供えるなど、そういう意味でも親しまれている。美しい朱色をした数珠のようなものもある。

(委員)

子供の頃、よく祭りやネブタのとき、首にネックレスのようにさげていた。みんなに親しまれることを思うなら、もっと増やすことを考えていかなければならないと思う。

(委員長)

このあたりで欠席者の意見を伺ってよろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、事務局、報告をお願いしたい。

(事務局)

欠席された委員からの意見を報告する。花の名前はハマナスでお願いしたいと提出されている。表記方法は、平仮名、カタカナどちらでも決定に従うということである。

(委員長)

大体の意見がハマナスだが、全体の総意としてハマナスとしてよろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、花はハマナスとする。表記方法についてだが、今回はカタカナが4名、平仮名が3名、どちらでも良いが2名で拮抗していたが、意見をお願いしたい。

(委員)

書きやすさ等から平仮名のほうが良いと思う。

(委員長)

書きやすさ等といった意見もあったが、いかがか。

(委員)

やはり平仮名はイメージとして優しさがあると思うが、ただ学問的に考えればカタカナのほうがふさわしいという気がする。

(委員長)

図鑑などを見ると、ほとんどカタカナである。

(委員)

ハマナスは種、生き物の名前である。サクラは生き物の名前ではなく、ソメイヨシノ

やオオシマザクラなどの名前がある。従って、普通はカタカナで「ハマナス」と書くのが標準的である。ただ、文学的、生活にとけ込んでいるなどとすれば平仮名という書き方もあるのではないかな。

(委員長)

説得力のある話しでよく分かった。それでは、どちらがいいか決をとってよろしいか。

(委員から決を採った結果、カタカナが3名、平仮名が10名となった。)

平仮名で表記という方が圧倒的に多いので、平仮名としてよろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

では、事務局お願いしたい。

(事務局)

確認させていただく。花は「ハマナス」、表記方法は平仮名ということだが、理由については、配付資料1をベースとし、子供たちへのPR、教育を行うなど、後世に伝えるという主旨を文言として加える、また平仮名の優しさなどのイメージ等を記述に盛り込む形で調整することとしてよいかどうか、委員長へお諮りいただきたいと考えている。

(委員長)

ただ今の事務局の説明について、いかがか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それではそのように進めるので、よろしくお願いしたい。

【むつ市の木について】

(委員長)

それでは次は、市の木についてである。

木についてはヒバ一種類となっているが、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料1「市の花・木・鳥の選定に係る名称の最終候補」の2頁について説明。

(委員長)

事務局の説明について、質問があったらお願いしたい。

(委員から「なし」の声あり。)

質問がないようなので、早速意見を伺いたい。花と違い一つに絞られているので、表記方法が問題になる。今のところ5通り出ているが、深く話し合いを進めたいと思う。

(委員)

今回は学術的にもカタカナと話をしたが、花も平仮名で「はまなす」となったことを考えると、ヒバも平仮名のほうが柔らかくていいと思う。

(委員長)

ほかの委員はいかがか。

(委員)

下北を付けないで、優しい感じがする平仮名の「ひば」としたい。

(委員長)

では、別の委員はいかがか。

(委員)

私は、平仮名がいいと思う。

(委員長)

前はカタカナで「ヒバ」であったが、今回は平仮名ということである。

では、ほかの委員はどうか。

(委員)

花が平仮名で木がカタカナだとバランスが取れないように感じるので、ハマナスが平仮名なら同じように、平仮名としたほうがバランスが取れると思う。

(委員長)

バランスという委員の意見である。

他に、こうしたいとかという意見はないか。

(委員)

前回と同様に親しみがある平仮名で「ひば」としたい。

(委員長)

では、ほかの委員はいかがか。

(委員)

前回、ヒバの前に「あおもり」を付けると提案したが、県の木や青森市の木と考えられることがあるのではないかと思います、いろいろ考えた結果、単にヒバがいいと思う。表記は親しみやすいということで平仮名にしたいと思う。

(委員長)

ほかの委員はどうか。

(委員)

この木はヒノキアスナロが標準名であるが、全体が平仮名であれば、平仮名の「ひば」

で結構である。

(委員長)

大分平仮名の「ひば」が出てきたが、このへんで欠席している委員のご意見を伝えていただきたい。

(事務局)

欠席された委員からの連絡であるが、木はヒバで変わらないとのことである。表記方法は、カタカナ、平仮名どちらでも決定に従うとのことである。

(委員)

文章で説明するときの花・木・鳥の名称は、カタカナできちんと記載したほうがいいと思う。私たちが呼ぶときに平仮名で表記するように提案したいと思う。

(委員長)

最初の説明にある「ヒバは・・・」というのはカタカナにして、私たちが決めたものは平仮名の「ひば」ということで。

(事務局)

事務局としても、一般的な文章はカタカナで記述するというように考えている。

(委員長)

大半が平仮名で表記するという意見になっているが。

(委員)

大勢に従って平仮名でお願いしたいと思う。

(委員長)

では、ほかの委員はいかがですか。

(委員)

皆さんのお話を聞いて、平仮名の「ひば」でお願いしたい。

(委員長)

それでは、むつ市の木についてはヒバ、表記方法は平仮名ということで決定したいと思うが、いかがか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、そのようによろしくお願いしたい。

ここで、次の鳥に行く前に10分間、休憩を取りたいと思う。

(休憩 午後2:28～午後2:37)

【むつ市の鳥について】

(委員長)

それでは、審議を再開させていただく。

続いて、市の鳥について審議をする。最終候補となった鳥の名称などについて、事務局からの説明をお願いしたい。

(事務局)

資料1「市の花・木・鳥の選定に係る名称の最終候補」の3頁について説明。

(委員長)

事務局から説明があったが、ご質問等があるか。

(委員から「なし」の声あり。)

ないので、皆様のご意見をお伺いしたいと思う。オオハクチョウ、ハクチョウ、カモメとあるが、前回ご欠席された委員からご意見を伺ってよろしいか。

(委員)

オオハクチョウがいいのではないかと思う。表記方法は、花・木が平仮名となっているので、統一した形で平仮名がよい。

(委員長)

はい、平仮名で「おおはくちょう」ということで。

そのほかは、いかがか。

(委員)

私も平仮名で「おおはくちょう」がよろしいかと思う。確か、県警のパトカーにハクチョウがついていたと思うし、県警ヘリコプターも「はくちょう」という名前だったと思ったが、そういうことを考えると、「おおはくちょう」のほうが何か違ったイメージもあっていいと思う。

(委員長)

それでは、ほかの委員はいかがか。

(委員)

私は、この前言ったとおりカモメである。あとは、皆さんに任せたい。

(委員長)

大勢がオオハクチョウ、ハクチョウということで、カモメは少ないので、オオハク

チョウかハクチョウになろうかと思うが、これを絞っていきたいと思う。

(委員)

この前、委員に教えていただいたが、陸奥湾に飛来しているハクチョウは4種類ある。オオハクチョウにすると子供たちが分かりづらいので、飛来するハクチョウ全体の総称として、平仮名で「はくちょう」がよいのではないかなと考える。

(委員)

子供たちはハクチョウはいいが、オオハクチョウに馴染んでおらず、どう違うのか分からない。ハクチョウはいろんな種類が飛来するので、子供たちは、ハクチョウという言葉が自然に出ると思う。私は、最初はオオハクチョウに賛成したが、ハクチョウとするのが全体的でいいのかなという感じがしており、平仮名で「はくちょう」が書きやすく優しい感じがしていいと思う。

(委員長)

あと、皆様のご意見を伺いたいと思います。

(委員)

私も前はカタカナで「オオハクチョウ」と申し上げたが、皆さんの話を聞いて、ハクチョウのほうがいいと思えてきたので、平仮名の「はくちょう」にしたいと思う。

(委員長)

他の委員はどうか。カモメもあったが。

(委員)

配付資料を見てもハクチョウは何カ所もない。オオハクチョウは蓬田村などにある。そういう点からいけば、「オオ」を付けるよりも、ハクチョウのほうがすぐ理解でき、呼びやすいので、平仮名で「はくちょう」のほうがいいと思う。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

そうすると、ほかの委員は。

(委員)

大勢で結構である。

(委員長)

大体、平仮名で「はくちょう」、「おおはくちょう」となっていたが、カタカナという方はいるか。

(委員)

オオハクチョウとした場合は、完全に種名、生き物の名前なので、カタカナの方がいいのかなという感じがする。ただ、ハクチョウとした場合は、文学的に総称として、種名を使わないで平仮名の「はくちょう」がいいかと思う。

(委員長)

次の委員も、平仮名の「はくちょう」ということであつたが。

(委員)

オオハクチョウは一つの種類である。青森県では平内町の浅所海岸が一番有名だが、昔から陸奥湾にもかなりのハクチョウが飛来してきている。そして渡り鳥の代表となると、まずはハクチョウである。田名部中学校の生徒歌にも「白鳥遊ぶ陸奥の海」とあり、馴染みがあるのではないかと思う。

(委員長)

大体意見を伺ったが、発言されていない委員はどうか。

(委員)

平仮名が文書化されたとしたら読みづらいという感じを受けたので、ハクチョウだけは漢字にしたほうがいいのかと思う。ハマナスもヒバも平仮名、そしてハクチョウも平仮名となれば、文字を並べた際に平仮名だけで読みづらいのかなと思う。

(委員長)

貴重な意見として漢字が出てきた。

ここで、欠席された委員のご意見を伺いたい。事務局からお願いしたい。

(事務局)

欠席された委員からの意見であるが、市の鳥はオオハクチョウということで前回の意見と同様である。表記方法は決定に従うということである。

(委員長)

欠席された委員は、オオハクチョウである。

あと、意見を言っていない方はいるか。

(委員)

いろんな流れの中で、なるほどという思いもあるが、私は平仮名で「はくちょう」がいいという気がする。

(委員長)

そうすると、平仮名で「おおはくちょう」が3人、平仮名で「はくちょう」が9人と

いうことだが、むつ市の鳥については、平仮名の「はくちょう」で答申してよろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、異議がないようなので、市長へ答申する市の鳥の名称については、平仮名の「はくちょう」に決定する。

これで、市長に答申する市の花・木・鳥すべての名称が決定した。

次に、答申書のとりまとめについてであるが、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料2「むつ市の花・木・鳥の選定について(答申)」について説明。

(委員長)

ただ今の説明について、ご質問はあるか。

(委員から「なし」の声あり。)

では、市長への答申書の文案については、委員長に調整を一任させていただきたいと思うが、よろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、そのようにさせていただく。なお、答申書については、後日、委員の皆様を送付させていただくで、ご了承願いたい。

以上で審議を終了する。

4. その他

(委員長)

次に、その他についてである。

まず、市長への答申の日程についてであるが、7月28日に市役所で私と職務代理者の布施委員で行いたいと考えているので、ご了解をお願いしたい。

その後は、8月上旬に市の花・木・鳥を決定し、9月1日に正式に制定するとともに、記念式典において発表することとなっているので、よろしく願いたい。

それでは、最後になるが、なにかご発言はあるか。

(委員からの発言なし。)

それでは、事務局から何かあるか。

(事務局からの発言なし。)

ないようなので、これですべて終了した。

5. 閉会

(委員長)

それでは皆様、本当に3回の長い会議でしたけれども、ありがとうございました。皆

様の建設的な、そしてとても優しいご意見のお陰で無事に花・木・鳥をまとめることができました。本当にありがとうございます。拙い議長で、心配の面もありましたでしょうけれども、本当に皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上を持って、むつ市花・木・鳥選定委員会を終了する。

最後に事務局から一言お願いしたい。

(事務局)

それでは、少しの時間をいただきましてご挨拶させていただきたいと思います。本来でありますと、ここで上司のほうから皆様方に一言お礼を申し上げるところですが、大変恐縮ですが、本日は市長、副市長並びに企画部長ともども公務出張につきまして、出席ができませんでした。誠に失礼かとは存じますが、私から一言だけご挨拶を申し上げたいと存じます。

この度は、公私とも大変お忙しい中にも関わらず、皆様方には快く委員をお引き受けいただきまして、そしてまた真剣なるご審議をいただきました。お陰様をもちまして、本日ここに答申の内容を決定することができました。本当にありがとうございました。今後におきましては、先程、委員長のほうからお話がありましたような日程を持ちまして、答申という段取りに進むわけですが、それを受けまして、事務局といたしましても粛々と制定に向けた作業を進めてまいりたいと思っております。

皆様方におかれましては、どうぞ今後とも市政の運営に対しまして、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げまして、簡単ではございますが、御礼のご挨拶に代えさせていただきます。本当にこの度はありがとうございました。